

社員選挙 立候補者届出状況

| 受付番号 | 氏名     | 所属(立候補日現在)                                 | 立候補所信  |
|------|--------|--|--|
| 1    | 中江 大   | 東京農業大学応用生物科学部食品安全健康学科                      | 機会を与えていただければ、経験と専門性を活かして、一般社団法人レギュラトリーサイエンス学会の活動に貢献したいと考えます。   |
| 2    | 松田 勉   | 興和(株)                                      | なし   |
| 3    | 齋藤 充生  | ヘルスヴィジランス研究会                               | これまでレギュラトリーサイエンスの実践、研究を行ってきました。学会の発展のため、微力を尽くしたいと思います。   |
| 4    | 渡邊 伸一  | 帝京平成大学 薬学部                                 | なし   |
| 5    | 諫田 泰成  | 国立医薬品食品衛生研究所・薬理部                           | 私は、ヒトiPS細胞やAI等を活用したレギュラトリーサイエンス研究に従事しております。より安全でより有効な医薬品を一刻も早く社会に還元するために、産官学で密な連携をはかりながら、レギュラトリーサイエンス研究を推進することは大変重要と思います。微力ではございますが、本学会の発展に尽力したいと考えており、社員(評議員)に立候補いたします。何卒よろしくお願い申し上げます。 |
| 6    | 松村 一   | 東京医科大学 形成外科学分野                             | 臨床医師・アカデミアの一員として、本邦でのレギュラトリーサイエンスの発展に寄与したいと考えています。学会の適切な運営に務めるとともに、会員の皆様方のご意見にも真摯に耳を傾けてまいります。宜しくお願い致します。   |
| 7    | 今枝 孝行  | ファイザーR&D合同会社                               | レギュラトリーサイエンスの発展・深化は、今後の私のライフワークと考えています。ぜひ、日本のレギュラトリーサイエンスの発展に貢献したいと考え、今回社員(評議員)に立候補したいと考えました。  |
| 8    | 池田 孝則  | 日本製薬工業協会 医薬品評価委員会 基礎研究部会<br>MSD株式会社 安全性研究室 | 日本製薬工業協会 医薬品評価委員会 基礎研究部会を代表して社員(評議員)に立候補いたします。   |
| 9    | 前田 英紀  | 明治薬科大学                                     | レギュラトリーサイエンスの推進及び普及に貢献したいと考えています。  |
| 10   | 田邊 思帆里 | 国立医薬品食品衛生研究所                               | レギュラトリーサイエンスの発展に尽力していく所存です。どうぞよろしくお願い申し上げます。   |
| 11   | 永井 純正  | 京都大学医学部附属病院 医療開発部                          | 令和3年4月より京都大学にて橋渡し支援拠点の運営を行っています。これまでも学術大会での講演や評議員として本学会に寄与してまいりましたが引き続き本学会に貢献していく所存です。   |

|    |       |  |   |
|----|-------|--|---|
| 12 | 細木るみこ | 立命館大学薬学部   | なし  |
| 13 | 宮崎生子  | 昭和薬科大学   | 本学会の更なる発展のため、微力ながら尽力させて頂きたく存じます。何卒宜しくお願い申し上げます。   |
| 14 | 益山 光一 | 東京薬科大学   | レギュラトリーサイエンスの発展に寄与できるようがんばります。  |
| 15 | 近藤 昌夫 | 大阪大学大学院 薬学研究科<br>附属実践薬学教育センター 薬事教育研究ユニット<br>附属創薬センター 創薬臨床研究推進ユニット 医薬品・医療機器規制科学プロジェクト | レギュラトリーサイエンスの振興に貢献できるよう、最善を尽くします。   |
| 16 | 柏谷 祐司 | 武田薬品工業株式会社(日本製薬工業協会 薬事委員会)   | 最新の薬事制度改革に関して業界を代表して意見具申・提言を行いたく、RS学会社員に立候補します。   |
| 17 | 鈴木 啓介 | 国立長寿医療研究センター 先端医療開発推進センター  | 認知症や神経難病の治験や臨床研究に関与してきた経験を活かして、本邦におけるレギュラトリーサイエンスの発展に寄与できればと考えております。どうぞ宜しくお願いいたします。   |
| 18 | 成川 衛  | 北里大学   | レギュラトリーサイエンスの発展に向けて努力いたします。   |
| 19 | 岩崎 清隆 | 早稲田大学 理工学術院  | 先駆的クラスIV治療機器の研究開発と迅速な承認審査・安全対策に資する、ヒト病態を模した実験系・評価系の研究開発と規格策定等の活動を通じ、日本での早期開発・導入・海外展開に貢献してまいります。また、レギュラトリーサイエンスの博士課程大学院において、引き続き産官学の人材育成に取り組んでまいります。本学会関係諸氏とともにレギュラトリーサイエンスにおける新たな学術知の創出と活用に取り組んでいく所存です。 |
| 20 | 山田 雅信 | 筑波大学 つくば臨床医学研究開発機構   | 薬事行政の経験を活かして貢献したいと思います。   |
| 21 | 佐藤 光利 | 明治薬科大学   | 医薬品の安全性ならびに品質保証に関するレギュレーションに貢献し、レギュラトリーサイエンスの普及と発展に尽力します。   |
| 22 | 戸高 浩司 | 九州大学病院 ARO次世代医療センター<br>九州大学 学術研究・産学官連携本部   | 臨床医、研究者、PMDA審査官OBであり橋渡し研究支援拠点・臨床研究中核病院 教授・拠点統括・センター長としての豊富な経験を生かして、規制科学研究の推進など本学会の発展に寄与する所存です。  |

|    |       |                                  |  |
|----|-------|----------------------------------|--|
| 23 | 石井 明子 | 国立医薬品食品衛生研究所 生物薬品部長              | 国立衛研にて、バイオ医薬品に関するレギュラトリーサイエンス研究に従事しております。化学技術の成果を医薬品として結実させ、社会に迅速かつ的確に還元するため、産官学の連携のもと、レギュラトリーサイエンスに関する学術の進歩と普及を図ることは、非常に重要な課題であると考えます。レギュラトリーサイエンス研究の中核をなす本学会の活動に微力ながら協力させて頂くことで、社会にも貢献したいと考えております。 |
| 24 | 荒川 義弘 | 筑波大学 つくば臨床医学研究開発機構               | なし   |
| 25 | 東阪 和馬 | 大阪大学                             | レギュラトリーサイエンスの推進に貢献できるよう尽力して参ります。   |
| 26 | 菅谷 勉  | ノーベルファーマ株式会社                     | 社会科学の観点から、微力ながら、レギュラトリーサイエンス(RS)の進化及びRS学会のさらなる発展、並びにアカデミア及びバイオテク発のイノベーションを起点としたオールジャパン創薬の一層の推進に寄与したい。  |
| 27 | 永井 尚美 | 武蔵野大学薬学部                         | なし   |
| 28 | 菊地 主税 | 日本製薬工業協会 医薬品評価委員会 (ヴィアトリス製薬株式会社) | レギュラトリーサイエンスが日本で益々発展し、研究が活発になるよう取り組んでまいりたいと考えております。  |
| 29 | 鹿野 真弓 | 東京理科大学薬学部薬学科                     | なし   |